

1240 | 版画V

2単位（通信授業1単位、面接授業1単位）

永井研治教授、遠藤竜太教授、高浜利也教授、今井庸介講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、渡邊洋講師

授業の概要と目標

自己の表現を見つめて版や材料の特性を学び、「版画VI」以降の取り組みの中で専門性と造形表現を高める版種を明確にする。

通信授業では、「時間」をテーマにして、各自が自由な解釈を加え、版表現を試みる。「版画IV」までの履修によって、4版種の基本技法の習得を終えたことになる。ここからは積極的に表現方法を見出し、充実した研究制作が望まれる。面接授業では、各自が選択した版種の専門技法や特殊な製版などの実習を行い、基本的実習とは異なる視野を与えながら各自の表現を追求する（面接授業は開講する時期によって実習の内容が変わる）。

課題の概要

○通信授業課題「時間」

1-1 4版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から1版種を選択し、「時間」をテーマに、ドローイング、版画作品を制作する。

1-2 自由にテーマを設定し、ドローイング、版画作品を制作する。

○面接授業課題「版種の専門技法の実習」

1-1 4版種の中から1版種を選択し、自由テーマで制作する。版種ごとに行う専門性を高める実習を通して、以降の研究課題、表現内容、選択版種などを明確にする。

*4年次の学習を視野に入れた版種を選択すること。

*スクーリングの実習内容は開講時期により異なる（下記参照）。

【夏期スクーリング】

- ・木版 [コラグラフ]
- ・リトグラフ [感光法 (PS版)]
- ・銅版 [メゾチント]
- ・スクリーンプリント [油性インク刷り]

【冬期週末スクーリング】

- ・木版 [木口木版]
- ・リトグラフ [石版]
- ・銅版 [フォトエッチング]
- ・スクリーンプリント [写真を使った作品制作]

授業計画

[通信授業]

学習指導書『版画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』の「版画Ⅴ」、教科書『新版 版画』を参照して、制作を進める。

[面接授業]

「木版」「リトグラフ」「銅版」「スクリーンプリント」（1版種選択）

第1日	午前：前提講義及び制作	午後：制作及び指導
第2日	午前：制作及び指導	午後：制作及び指導
第3日	午前：制作及び指導	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「版画IV」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備考] 油絵学科版画コース3年次必修科目。

「版画Ⅲ」、「版画Ⅳ」、「版画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が上がるように授業内容が設定されているが、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。ただし、「版画Ⅴ」のスクーリングは受講経験のある版種を選択すること。

教材等

教科書：『新版 版画』（武蔵野美術大学出版局 2012年）

学習指導書：『版画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）